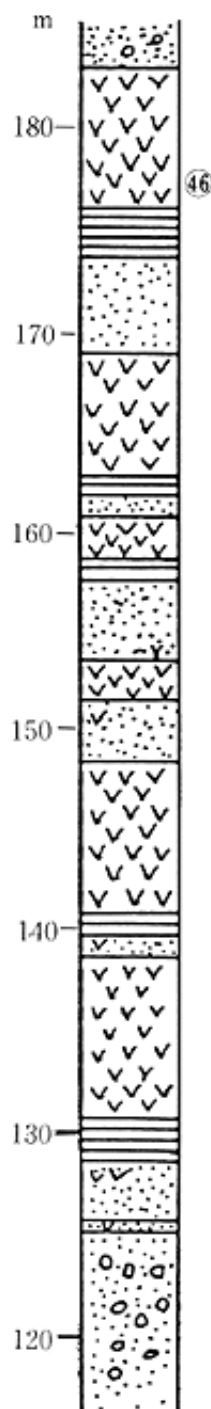
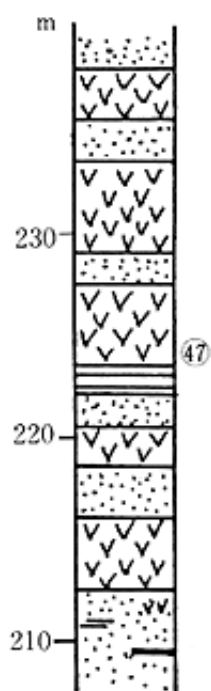


クロモジ属 *Lindera* sp.



▲ 発見場所、
垂水区名谷町の柱状図



▲ 発見場所、
兵庫区鶴台の柱状図



▲ 基部から出る3つの主脈が特徴

▼ 浅く3裂しているタイプ



クロモジ属

葉は卵形または楕円形で、先端は鋭くとがり基部はくさび形である。葉の縁は全縁で基部からでる三主脈が著しくはっきりしている。クロモジ属のなかまでも、なかには三主脈ごとに浅く三つに裂けた葉の化石も産出している。クロモジ属によく似た化石も産出するが、のこぎり葉の有無で区別がつく。クロモジ属はのこぎり葉はなく全縁である。

白川累層の上部層に多産する地点があり、密集して産出する。

現生のクロモジ属は約100種が温帯から亜熱帯に分布しており、東アジアおよび南アジアに多く、北アメリカにも見られる。日本には7種ある。

(クスノキ科 クロモジ属 *Lindera* Thunb.)



[デジタル化](#) [神戸の自然シリーズ 16](#) [神戸層群の化石を掘る](#) [メニューへ](#)